

## 行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5\_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

### 施策 5-9\_国際化の推進

基本計画		事業番号	細事業名称
5-09-01	国際交流の推進	02620_01	インドネシア・マレーシア交流促進事業
5-09-03	国際化を進める体制づくり	02577_01	国際交流協会運営事業

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	02620_01	
事業名(行目名称)		インドネシア・マレーシア交流促進事業費		細事業名	インドネシア・マレーシア交流促進事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	国際化の推進		
	基本計画	国際交流の推進		担当課	地域コミュニティ課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民			数値	115,627人	
	手段(どうやって)	インドネシア交流事業については、職員の現地視察調査を通じて、今後の交流事業における可能性を検討、またインドネシアからの本市訪問の際に新居浜市のインドネシア関係者も含めた交流会を実施する。マレーシア交流事業については、オンライン交流会やマレーシアフェア、文化を紹介するマレーシアウィーク等の開催により、さらなる関係を深める。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市とゆかりのあるインドネシア共和国との将来的な友好都市関係を目標とした交流、及び本市でマレーシア出身の国際交流員を受入するなど各種交流のあるマレーシアの東方政策40周年を記念した事業開催により、友好関係のさらなる進展を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○報償費 110千円 ○旅費 1,879千円 ○需用費 376千円 ○委託料 2,799千円 ○使用料及び賃借料 77千円	
経費			5,241	5,241	3,077		
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他		0	0	0		
	一般財源		5,241	5,241	3,077		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
交流事業開催数			目標値		5	8	7
			実績		3	4	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
コロナ感染拡大の影響によりインドネシア訪問時期が延期、再調整となり、マレーシアバドミントンチームとの交流が延期となるなど、事業に影響が出ている。マレーシアオンライン交流会やマレーシアウィーク開催により、新居浜市民への国際理解が推進され、マレーシアとの友情が深まるなどの成果があった。インドネシア交流事業については、相手都市であるクブラヤ県や関係各者との連絡を取り合い、訪問に向けた準備を進めた。年度後半においても引き続き各種交流事業を行っていく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
インドネシア・マレーシアとの交流については、引き続きオンライン交流会やマレーシアフェアを開催する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
インドネシアへの訪問については、時期はずれ込んだものの予定通り実施できた。訪問をきっかけにインドネシアクブラヤ県との交流が始まり、その一環として本市職員から募った図書を同県に贈呈し、日本語教育の一助として役立ててもらっている。次年度以降の交流促進の足がかりが出来た。 また、マレーシアとの交流については、オンライン交流会、同国映画を上映したり、民族衣装等を展示したマレーシアウィークの開催、観光物産協会主催のイベントへ同国の文化紹介ブースの出展など、同国文化の発信による市民への国際理解の推進に取り組むことが出来た。 令和4年度は、インドネシア訪問があったため、事業規模が拡大していたため、令和5年度以降は事業規模は縮小するものの、予算を伴わない取組を含めて、国際交流の推進、市民の国際理解に繋がる機会の提供を継続したい。							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	02577_01		
事業名(行目名称)		国際交流協会運営費	細事業名	国際交流協会運営事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	国際化の推進			
	基本計画	国際化を進める体制づくり	担当課	地域コミュニティ課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	118,521人			
	手段(どうやって)	任意団体である新居浜市国際交流協会を市の補助金により運営、事業を委託していく。市としては国際交流員人件費及び協会事務所内の機器の整備費用等を負担することで、財政的な支援を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	地域に根ざした国際理解及び国際交流に関する活動を通じて、市民の国際化意識と国際認識の向上を図り、多文化共生できるコミュニティの実現と世界に開かれた地域社会の発展に寄与することを目的とする。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		10,011	12,295	12,295	10,921	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報酬 3,940千円</li> <li>○共済費 629千円</li> <li>○旅費 70千円</li> <li>○需用費 43千円</li> <li>○役務費 72千円</li> <li>○委託料 1,685千円</li> <li>○使用料及び賃借料 1,091千円</li> <li>○負担金補助及び交付金 4,765千円</li> </ul>	
財源	県・国支出金	468	130	130	119		
	地方債		0	0			
	その他	3,349	3,348	3,348	3,349		
	一般財源	6,194	8,817	8,817	7,453		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
外国人対応実績		目標値	12	12	12	12	12
		実績	113	72	113	142	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>2019年度から国際交流協会に外国人相談窓口を設置し、外国人の窓口一元化を図っている。第2日曜日にベトナム人による外国人対応、翻訳機等の設置による相談窓口を開設している。また、協会の知名度をさらに上げるため、様々な広報媒体やイベントでの周知を図っている。</p> <p>外国人住民数がコロナ禍前位まで回復、今後はますます増加が見込まれることから、より細やかな外国人支援が必要になるとともに、外国人を受け入れる側の市民の国際化意識の向上が必要となる。</p> <p>また、英語やマレー語だけでなく日本語も堪能な国際交流員の任用により、市役所での手続きに苦慮している外国人のサポートにも成果が上がっている。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>今年度予算をベースとしつつ、地域に根差した国際交流に関する活動を通じて、市民の国際化意識と国際認識の向上を図り、多文化共生できるコミュニティの実現と世界に開かれた地域社会の発展を目指し、多文化共生社会の形成に向けて各種講座や研修を増やし、国際交流事業の充実を図りたい。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
<p>外国人相談窓口での相談件数については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、技能実習生の受入数減少、窓口閉鎖期間を設けたことなどにより、実績がやや伸び悩んだものの、翻訳機の活用等により、悩みを抱えた外国人のニーズを満たすことが出来た。</p> <p>協会の知名度向上施策については、行動制限がある中での活動となり、中止した行事も多かったが、年度末にかけて徐々に再開することが出来た。</p> <p>次年度以降、技能実習生の受入も再開され、行動制限も解除されることから、在留外国人のサポート及び市民の国際理解促進に積極的に取り組むため、現状計画通り事業を進めたい。</p>							